

The logo for EXEDY, featuring the word "EXEDY" in a bold, blue, sans-serif font. A red and white diagonal stripe is positioned behind the "E" and "X".

**EXEDY**

株式会社 **エクセディ** 福島

# 環境報告書

EXEDY FUKUSHIMA Corporation Environmental Report

*2021*

# 1 目 次

## 1 目次 P1

編集方針/対象期間/参考ガイドライン

## 2 会社概要 P2

## 3 トップメッセージ P3

## 4 環境方針／法令順守状況 P4

## 5 環境マネジメント P5

環境管理委員会組織図/環境目的・目標/  
国際的な環境マネジメントシステムの  
取得状況

## 6 環境負荷状況 P6

2021年度生産活動における環境負荷状況

## 7 サステナビリティ活動 P7～P8

## 8 環境課題 P9



松原工場

### ■編集方針

この報告書は、株式会社エクセディ福島（以下エクセディ福島）の環境活動を当社の利害関係者の皆様にご報告するために作成しています。

当社は以前からSDGsの活動を推進してまいりました。2021年度は、更なる活動を実施し、特に廃棄物の削減について活動しました。

表紙は当社が所在する喜多方市の枝垂れ桜です。後世まで地域が環境と共生できる社会にするために、当社としてのサステナビリティを目指します。専門用語の使用は極力避け、使用した場合は※記しでページ下記に用語解説として記載しています。

### ■対象期間

2021年4月～2022年3月

### ■参考ガイドライン

環境省「環境報告ガイドライン2018年版」一部



# 2 会社概要

社名	株式会社エクセディ福島 EXEDY Fukushima Co., Ltd.
設立	1960年12月1日（クロイドン株式会社）
資本金	3億8千万円
代表取締役社長	西田 昌弘
売上高	22億円（2021年度）
従業員数	240名（2022年4月現在）
所在地	本社・松原工場：福島県喜多方市松山町鳥見山字松原 65 村松工場：福島県喜多方市松山町村松字常盤町 2600 綾金工場：福島県喜多方市豊川町米室字古開 142-14 技術開発部：大阪府寝屋川市木田元宮 1-1-1 (株)エクセディ本社内 営業部：静岡県富士市荒田島町 6 番地 20 号 リコーソリューションズ東静岡ビル 2F (株)エクセディ静岡営業所内



村松工場

## 【製品情報】



スラストニードルベアリング

当社は、2013年度より株式会社エクセディグループの関連企業として事業しています。製品であるスラストニードルベアリングは、オートマチック用変速装置部品に組み込まれ、高精密なベアリングです。

大きな特徴の一つに、「低フリクションロス」がございます。

これは省エネ・低燃費に大きく貢献する技術の一つです。

会社沿革	
1940年	日進工業所 創業
1960年	クロイドン株式会社 設立
1970年	ジヤトコ株式会社様と取引開始
1985年	株式会社エクセディと取引開始
1999年	ISO9001 取得
2006年	ISO14001 取得
2011年	株式会社エクセディと資本提携調印
2011年	株式会社エクセディ精密でのベアリング組立開始
2013年	株式会社エクセディの資本比率が100%に
2013年	「株式会社エクセディ福島」へ社名変更
2020年	綾金工場 竣工

技術開発	
1952年	ニードルベアリングの国際化
1961年	フランス・ナデラー社と技術提携
1970年	トランスミッション用ベアリングの開発商品化(日本国内初)
1985年	トルクコンバーター用ベアリングの開発

# 3 トップメッセージ

**工**クセディ福島は、自動車に使用されるスラストニードルベアリングを製造することだけを、深く長く追及し、実績と信頼を着実に積み重ねてきました。当社の製品はいずれもユニークな一体型構造となっており、お客様からは使いやすさとともに品質的にも高い評価をいただいております。

また、構成部品のすべてを内製していることから、急なオーダーにもフレキシブルに対応できるような体制をとっております。

エクセディ福島がある地元会津に根付いた教えをしっかりと心に留めて、「決めたことはきっちりとする」の精神とエクセディグループの理念である、私たちの目指す姿「健全な企業活動」のもと、全力で日々の生産活動に取り組んでおります。

2015年に国連で「持続可能な開発目標(SDGs)」が採択されて以降、企業による社会課題解決への期待が高まっております。

これまでは、CSR 活動と称し、省エネ製品の開発や地域社会への貢献、ダイバーシティの推進などに取り組んでまいりました。さらに、2020年4月には SDGs を経営方針7つの柱の一つに据え、4つの優先課題を中心に活動を加速させております。

**今**般、私たちはこうした活動をさらに進化させるべく、

CSR 活動を「サステナビリティ(持続的成長)活動」と改称し、

国際的な課題である「地球温暖化防止」について、

2050年までに

カーボンニュートラル(温室効果ガスの排出量実施ゼロ)を達成することを目標に ESG※を重視して、

省エネルギー活動の推進、再生可能エネルギーの導入に全員一丸となり取り組んでまいります。

今後とも皆様のご理解、ご支援を賜ることができますよう、お願い申し上げます。



2022年 4 月

株式会社エクセディ福島  
代表取締役社長 西田 昌弘

※ESG: 環境・社会・ガバナンス

# 4 環境方針／法令順守状況

## 【基本方針】

安全衛生・環境の確保は、企業活動の基盤であり社会的責任（CSR）です。

安全最優先、健康増進、地球にやさしい環境づくりに取り組みます。

## 【環境活動方針】

1. 法令や利害関係者の要求事項を順守し、環境汚染を防止します。
2. 生産、製品、サービスの分野において、環境マネジメントシステムを実行し、環境負荷低減に向けて継続的に改善します。
3. 省エネ・省資源を徹底し、使用と排出を最小限にします。
4. 地域・社会と連携し、環境改善・自然保護活動へ積極的に参加・支援します。

## 【2021 年度法令順守状況】

○ 達成／ × 未達／ - 該当なし

分析項目／事業所		松原工場	村松工場	綾金工場
水質測定	排水レベル	○	○	○
	飲料水検査	○	-	-
	飲料水残留塩素測定	○	-	-
騒音測定		×	×	○
浄化槽点検		○	○	○
地下水汲上量		○	○	○
フロン点検		○	○	○
化学物質使用量		○	○	○
廃棄物	マニフェスト交付状況	○	○	○
	産廃処分地確認※	○	○	○
エネルギー使用状況届出(省エネ法)		○	○	○

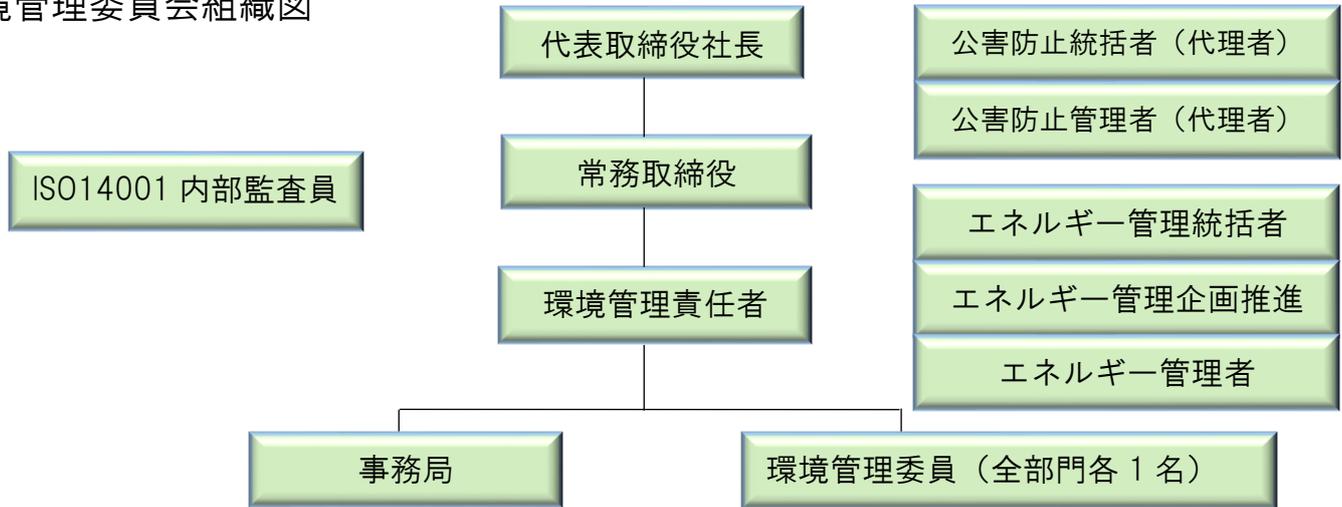
産廃処分地確認については、新型コロナウイルスの影響により、ホームページや電話での確認も含まれる。

# 5 環境マネジメント

エクセディ福島では、環境管理責任者を筆頭とする環境管理委員会を中心にマネジメント体制を構築しています。

委員会は毎月開催され、環境目的・目標に基づき各部門の活動報告、管理を行っています。

## ■環境管理委員会組織図



## ■環境目的・目標（2021年度実績と2022年度目標）

No.	環境改善活動のための方策	環境目的	2021年度目標	2021年度実績	2022年度目標
1	<b>エネルギー消費設備の対応</b> (電気・LPG・その他) ●省エネ機器の採用、更新 ●省エネ仕様への改造 ●生産性向上 (稼働時間の短縮)			×	☆CO2排出量の削減 (原単位かつ総量)  ・原単位目標: 年 158.4t-CO2/億円以下 ・総量目標: 年 4,455.0t 以下 * 対2019年度比年平均▲1%
2	<b>安全・環境活動</b> ●安全・環境・省エネパトロール ●省エネ7つの着眼点の実行 ●環境管理委員の育成 ●EMSの運用	環境活動方針に基づき、環境保全活動を効果的に行う。  [環境活動方針] 1. 法令や利害関係者の要求事項を順守し、環境汚染を防止します。	☆CO2排出量の削減 (累積原単位評価) 年 166.0t-CO2/億円以下 * 対2019年度比年平均▲1%	累積原単位評価 年202.2t-CO2/億円 (+36.2t-CO2/億円)  ※原単位: CO2排出量/売上高	
3	<b>品質活動</b> ●納入クレームゼロ ●不良削減活動 ●再の付く作業の削減 (無駄なエネルギー使用の抑制) ●QMSの運用	2. 生産、製品、サービスの分野において、環境マネジメントシステムを実行し、環境負荷低減に向けて継続的に改善します。	☆産業廃棄物削減 (累積原単位評価) 年 10.8t/億円以下 * 対2019年度比年平均▲1%	○	☆産業廃棄物削減  ・累積原単位目標: 年 10.8t/億円以下 * 対2019年度比年平均▲1%
4	<b>納期厳守</b> ●Just In Timeの生産 (必要なものを必要な時に必要な分だけ、生産)	3. 省エネ・省資源を徹底し、使用と排出を最小限にします。  4. 地域・社会と連携し、環境改善・自然保護活動へ積極的に参加・支援します。		累積原単位評価 年10.5t/億円 (▲0.3t/億円)  ※原単位: 排出量/売上高	
5	<b>環境問題への積極的な取り組み</b> (SDGsを意識して活動) ●社会的責任 (CSR)の展開 「企業の社会的責任=環境負荷低減」 ●関連する法規、条例の順守		☆環境災害※ゼロ  ※化学物質、廃棄物等による自然や人体へ影響を及ぼすこと	行政からの指導、罰則なし  ○	法令順守・環境災害ゼロ

## ■国際的な環境マネジメントシステムの取得状況 (JIS Q14001:2015/ISO14001:2015)

内部監査: 2021/11/25~2021/12/28

外部審査: 12か月定期審査 2022/3/14~3/15 (審査機関: JHIA) 結果: 不適合なし

# 6 環境負荷状況

## 2021年度生産活動における環境負荷状況

### INPUT

【エネルギー】		(前年度比)
・電気	7938.3 千 kWh	(+508.7 千 kWh)
・プロパンガス	188.4 t	(▲2.0 t)
・アンモニアガス	52.3 t	(▲3.8 t)
・炭酸ガス	4.1 t	(+0.3 t)
・灯油	70.9 t	(▲10.6 t)
・ガソリン	2.2kl	(▲4.8kl)

【購入材料】		(前年度比)
・材料(鉄材)	3,480.0t	(+186.8t)
・副資材	363.3t	(▲126.7t)

【水資源】		
・地下水	33.4 千m <sup>3</sup>	(▲2.0 千m <sup>3</sup> )

### OUTPUT

【有価物の売却】		(前年度比)
・スクラップ	2,694.1t	(+70.0t)
・廃油	40.3t	(+0.3t)

#### 【化学物質】

※PRTR 制度対象物質

	松原	/	村松
キシレン	0.7t	/	0.2t
1,2,4トリメチルベンゼン	0.7t	/	0.2t
トルエン	0.1t	/	-
ホウ素	-	/	0.2t
ノルマルヘキサン	0.06t	/	-

※2021年度はPRTR 制度報告量未滿

#### 【製品】

・出荷数	20,897 千個/年
	(+158 千個/年)

#### 【製品輸送にかかるエネルギー使用量】

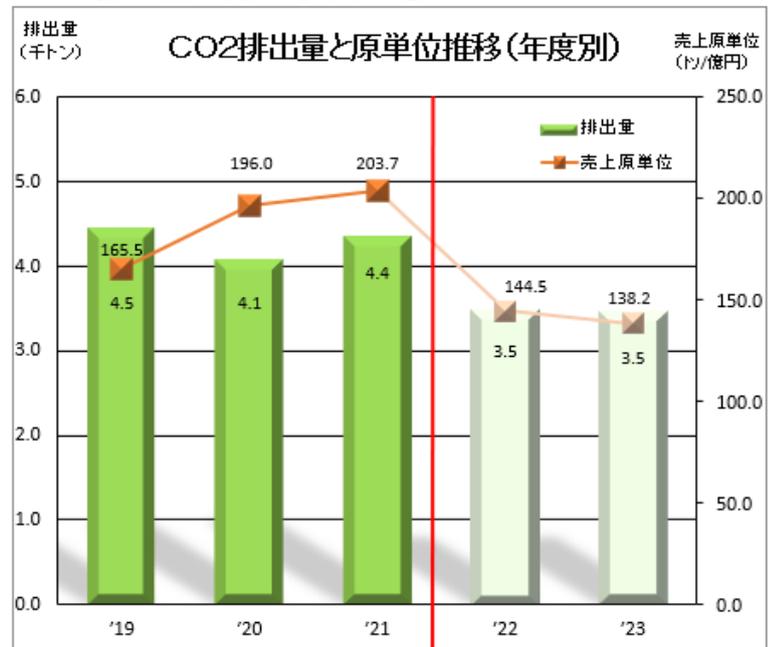
トンキロ法※ 48,513,167トンキロ

※PRTR 制度：汚染物質の排出および移動登録に関する制度であり、有害性が疑われる汚染化学物質が、どこから、どの程度、環境中へ排出されているか、あるいは廃棄物等の一部として移動しているかを把握し、集計・公表する仕組みのこと

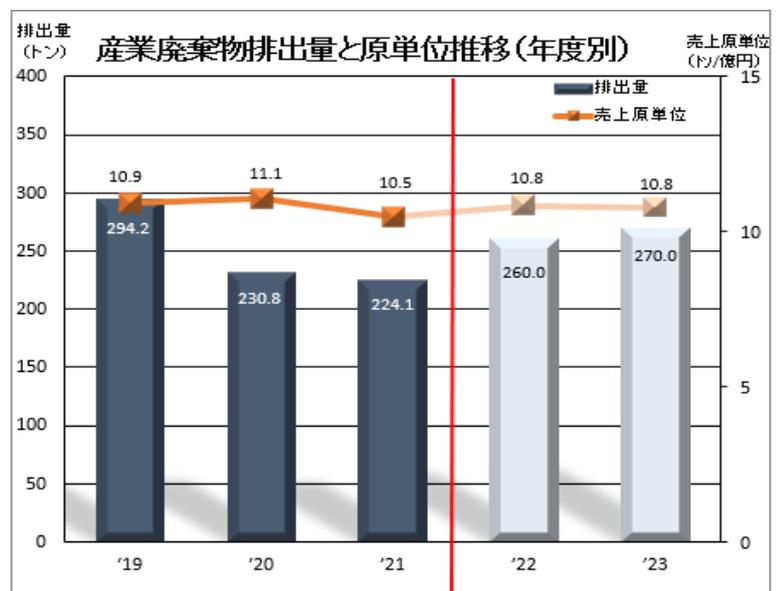
※原単位：排出量/売上高

※トンキロ法：距離(km)×重量(t)で算出

#### 【CO<sub>2</sub> 排出量と売上原単位※】



#### 【産業廃棄物排出量と売上原単位※】



# 7 サステナビリティ活動

当社は、企業と環境と社会が持続可能な開発目標 SDGs を達成できるよう環境管理委員会を中心に事業活動での環境保全活動も活発に行っております。2021年度の主な活動をご紹介します。

## SDGs とは？

2015年9月の国連サミットで採択された2016年から2030年までの国際目標です。

持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人として取り残さない」ことを誓っています。

## 調達



### ・グリーン調達ガイドラインの制定

お取引の皆様には、グリーン調達ガイドラインに則りお取引させていただいております。「グリーンなものを、グリーンなお取引様から調達すること」と定義し、環境負荷物質のインプットを制限しています。環境に配慮した購買を行い、従業員の意識向上につながります。

## 操業



### ■ (株)エクセディ福島 綾金工場 竣工



2020年12月に喜多方市綾金工業団地に新工場が竣工しました。

スラストニードルベアリングに組み込まれているローラーという部品の製造を行います。排水処理施設はもちろん、雨水経路に油水分離槽を備えています。また、作業場も、防音対策や空調完備で働きやすい工場です。

これからも地域と連携し、社会・環境・経済が持続可能な活動ができるよう更に活動を強化します。



### ・ガス／油漏れ訓練実施

漏れた場合を想定して、現場の方と安全環境部で訓練を実施しました。もし万が一のことが起こっても、被害を最小限に抑え、早急な対処ができるように訓練しています。



上：油漏れ訓練の様子



右：ガス漏れ訓練の様子

# 廃棄物



## ・電子マニフェストの導入

紙マニフェストを使用していましたが、2021年9月より電子マニフェストを導入しました。処分状況がリアルタイムで分かるようになりました。排出したら終わりではなく、最終処分まで確認することが排出責任ですので、今後も管理を継続していきます。また、マニフェスト管理の手間も省け、事務業務の効率化にもなりました。

## ・汚泥のリサイクル化

松原工場から排出される産業廃棄物の汚泥を、埋立処分から土木資材へのリサイクルに変更しました。年間約70tの汚泥が新たな製品になり使用されます。

## ・廃棄物の再利用

廃棄する研磨石を、敷石として再利用する活動を2018年度から実施しています。2021年度は、約5tが再利用できました。口コミで従業員に広まり、多くの方々から利用のアイデアを頂いています。

### ■再利用事例紹介



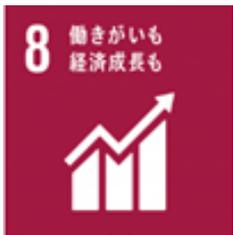
研磨石は、外部機関へ分析を依頼し、基準値以下を確認して実施しています。

# 8 環境課題

当社は、社会や環境に与える負の影響を低減し、ESGの重視でサステナビリティを実現するよう今まで以上に取り組んでいきます。



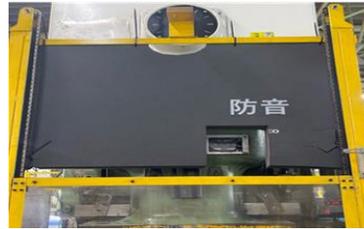
・温室効果ガスの削減  
2050年度までに温室効果ガスを実質排出0にするために、毎年の削減目標を達成することが最重要課題です。老朽化している設備の更新、電力の見える化を進め、従業員一人一人が積極的に活動を行います。



・働きやすい環境づくり  
慢性的になっていた負の環境影響を改善し、従業員が働きたいと思う職場を目指します。2021年度は、現場の方たちが自分たちで改善を行いました。まだ試作の段階ですが、2022年度は更なる改善を進めます。



洗浄液による臭いの低減  
自動化及び設備を囲うことで  
空気中への飛散防止



騒音対策  
作業効率も考えた防音  
パネルの設置

## 5Eチャレンジ

持続可能な発展に向けて経営者から作業員まで日常業務から実践する5項目です。新しいことに取り組み、育み、有効的なマネジメントシステムを構築していきます。

5Eとは？

Evolution	進化	環境に対する意識を向上し、持続可能な事業活動に進化します。
Education	教育	正しく新しい知識を増やし、社内だけでなく子供たち、地域に発信します。
Effect	達成	法の順守、環境マネジメントシステムを効果的に達成します。
Emission	大気汚染	事業活動で排気するCO2削減目標を立て、管理します。
Eco	エコ	一人ひとりが環境にやさしい製品、化学物質、行動を選択します。



# 株式会社エクセディ福島

〒966-0901 福島県喜多方市字松山町鳥見山字松原 65

お問い合わせ先：安全環境部

編集責任者 伊藤 健一

作成 安全環境部

TEL.0241-23-3100 FAX.0241-25-7367

発

行：2022年6月